

富士通テン株式会社

グローバル拠点の ICT インフラを統合監視 Oracle 製品からのアラートも含め監視を一元化

導入商品

システム運用と ICT 資産の統合管理「FUJITSU Software Systemwalker Centric Manager」
システムウォーカー セントリック マネージャー
 システムの自動運用とジョブスケジューリング「FUJITSU Software Systemwalker Operation Manager」
システムウォーカー オペレーション マネージャー
 グローバル企業の持続的成長を支えるエンタープライズ・アプリケーション「Oracle E-Business Suite」
オラクル イービジネス スイート

課題

- Oracle 製品を含む複数システムを一元監視したい
- 運用監視システムの海外展開をより確実に図りたい
- ジョブスケジュール作成作業を効率化したい

効果

- ■ Oracle 管理ツールと連携した統合監視を実現
- ■ 手厚いサポートでグローバル展開を支援
- ■ 月に 2 から 3 日要していたジョブスケジュール作成を削減

富士通テンは国内外の拠点ごとに構築・運用していた基幹システムをオラクルの「Oracle E-Business Suite」で刷新。それにあわせて、富士通の「Systemwalker Centric Manager」も導入し、Oracle 製品も含めアラート通知を一元化するなど、統合運用監視体制を整備した。さらには富士通の「Systemwalker Operation Manager」の導入によって、ジョブ管理の大幅な効率化も達成し、グローバルでのシステム運用管理の最適化を実現した。

導入の背景

基幹システム刷新のグローバル展開に伴い システム運用監視の一元化に取り組む

市販向け「ECLIPSE (イクリプス)」ブランドのカーナビゲーション・カーオーディオや自動車メーカー純正品、および自動車用電子部品などの製造販売を事業展開する富士通テン株式会社。近年は ICT の活用をより進めた「つながる」テクノロジーによって、対話型エージェントによるカーナビゲーション操作、スマートフォンを使った車両全周囲モニタなどのドライバーサポートを提案している。

同社のグループ会社は国内が 8 社、海外は北米やアジアなど 23 社であ

り、事業所総数はグローバルで 70 拠点にのぼる。富士通テン株式会社 IT 統制部 主査 システム開発担当 山口 和隆 氏は「今までは各拠点が独自にシステム導入・運用を進めていました。現在はグローバルで ICT ガバナンス強化をより図るべく、本社主導による標準化されたシステム構築・運用を積極的に進めています」と語る。

2008 年、国内拠点のメインフレーム老朽化を契機に、業務プロセスをシンプル化し、国内・海外拠点の各種実績把握のためにシステム/データをグローバルで統合することを主な目的として、受発注や一般会計などの基幹システムに、オラクルの「Oracle E-Business Suite」(以下、EBS)を導入。あわせて、データベース基盤に「Oracle Database Appliance」、データ集約の基盤に「Oracle Exadata」を採用した。

システム監視は、Oracle 製品については「Oracle Enterprise Manager」(以下、OEM)を用い、コマンドラインによる直接操作も併用。一方でメインフレームは自社開発ツール、オープン系はオープンソースソフトウェアで監視を行い、ジョブ管理は共通で国内ベンダー製品を利用していた。

富士通テン株式会社
IT 統制部
主査
システム開発担当
山口 和隆 氏



富士通テン株式会社
IT 統制部
運用管理チーム
チームリーダー
坂本 満 氏



富士通テン株式会社
IT 統制部
戦略企画チーム
濱本 弘治 氏



富士通テン株式会社
IT 統制部
運用管理チーム
名田 裕司 氏



富士通テン株式会社
IT 統制部
運用管理チーム
乾 知樹 氏

企業プロフィール

富士通テン株式会社

本社所在地 兵庫県神戸市兵庫区
御所通 1 丁目 2 番 28 号
設立 1972 年 10 月 25 日
資本金 53 億円
代表取締役社長 重松 崇
従業員数 3,394 名 (連絡:10,676 名) (2013 年 9 月末現在)
ホームページ <http://www.fujitsu-ten.co.jp/>

FUJITSU TEN

事業概要

カーナビやカーオーディオなどのインフォテインメント機器、制御用 ECU やミリ波レーダーなどの自動車用電子部品などの製造販売。

富士通テン株式会社 IT 統制部 戦略企画チーム 濱本 弘治 氏は「従来は EBS をはじめとする Oracle 製品、ジョブ稼働状況などの監視はシステムや製品ごとに個別で行っており非効率的でした。それら異なるベンダーの各種システムを含め、国内外拠点のシステムを本社から一元的に監視できる体制を整備したいと考えていました」と話す。

また、本社主導でのシステム監視をグローバル展開するにあたり、製品のサポートがネックとなっていた。富士通テン株式会社 IT 統制部 運用管理チーム チームリーダー 坂本 満 氏は「従来の監視ツールはサポートが不十分であり、ジョブ管理ソフトは海外サポートが未対応であるなど、グローバル展開に不安を抱えていました」と振り返る。

ジョブ管理の実務でも課題に直面していた。富士通テン株式会社 IT 統制部 運用管理チーム 名田 裕司 氏は「従来のジョブ管理ソフトは、オペレーション上コマンド等の専門知識が必要で、完全に属人化していました。また、月次および日次でスケジュール作業が必要なため、スケジュール処理実行・確認作業に時間がかかっていました」と打ち明ける。

導入のポイント

海外サポートの手厚さなどから、富士通の Systemwalker シリーズを採用

富士通テンは国内拠点の EBS 導入の初期段階から、富士通の EBS ソリューションチームの支援を受けていた。その運用設計段階で、統合運用監視に「FUJITSU Software Systemwalker Centric Manager」、ジョブ管理に「FUJITSU Software Systemwalker Operation Manager」を提案され、採用するに至った。

「実績の高さに加え、グローバル展開において手厚いサポートが受けられるので安心できますね。将来的に富士通へ運用をアウトソースする可能性も考慮し、Systemwalker シリーズに決めました」（坂本氏）

システム概要

Systemwalker Centric Manager と Oracle Enterprise Manager を連携

EBS 用サーバには、富士通製 SPARC/Solaris サーバを採用した。2008 年 9 月には北米、2012 年 5 月には国内への EBS 導入が完了し、現在は北米以外の海外拠点に順次展開中である。Systemwalker シリーズは EBS の展開にあわせて導入し、統合運用監視体制を構築している。富士通テン株式会社 IT 統制部 運用管理チーム 乾 知樹 氏は「OEM と Systemwalker Centric Manager を連携させ、運用監視を Systemwalker Centric Manager に一元化したことが大きなポイントです」と説明する。

他にも、障害発生時はメール通知に加え、Systemwalker Centric Manager と他社製警告灯を連携させ、警告灯点滅による通知も可能にするなど、さまざまな視点から監視体制を整えた。

導入効果と今後の展望

異常通知を集約し、監視の一次対応を一元化 ジョブ管理工数の大幅な削減も実現

富士通テンは Systemwalker Centric Manager の導入によって、国内外拠点の ICT インフラの運用監視体制の最適化を実現できた。「OEM が検知

した異常を Systemwalker Centric Manager 経由で通知できるようになりました。他システムの監視も Systemwalker Centric Manager に集約し、監視における一次対応は一元化できました。これでシステムごとに監視ツールを使う煩わしさから解放されましたね」と強調する濱本氏。乾氏も「Systemwalker Centric Manager は障害の発生状況が視覚的に表示されるため、システムへの影響範囲を直感的にイメージしやすくなりました」と続ける。

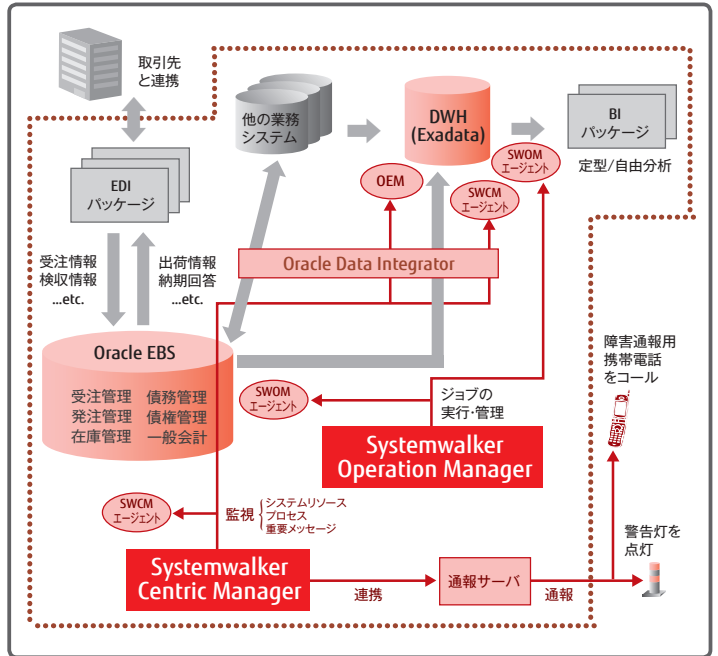
現在は通知の一元化のみだが、EBS など Oracle 製品のアラート検知は Systemwalker Centric Manager で行い、細かいステータス確認などは OEM で行うといった使い分けにも取り組む予定であり、運用監視のさらなる精度向上や効率化を狙う。

グローバル展開における製品サポートについても、従前の不安を払拭できた。「Systemwalker シリーズは海外を含め、富士通から手厚いサポートを受けられます。そのため、サポート面の不安に阻まれることなく、グローバルでの統一をより推進可能となりました」と坂本氏は語る。本社主導でのシステム構築・運用の基盤としても期待している。

一方、ジョブ管理は Systemwalker Operation Manager の導入によって、大幅に効率化できた。「GUI ベースなので、コマンドを覚える必要が無く、簡単に操作できます。その上、スケジュールリングはマスタ情報がほぼそのまま使えるため、月次・日次のスケジュール作成工数が半減以下となったのが大きいですね」と名田氏は目を細める。

同社は今後、残りの海外拠点への EBS および Systemwalker シリーズ展開を計画に沿って進めていく。「海外展開のなかで、コストとのバランスを鑑みつつ、Systemwalker シリーズの適用範囲を適材適所で拡大します。また、Systemwalker シリーズの機能を今まで以上に使いこなすことで、運用監視やジョブ管理のさらなる最適化を加速し、投資対効果を高めていきます」と坂本氏は展望を述べる。

【システム構成図】



SWCM=Systemwalker Centric Manager
SWOM=Systemwalker Operation Manager
OEM=Oracle Enterprise Manager

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

<http://systemwalker.fujitsu.com/jp/centricmgr/>

<http://systemwalker.fujitsu.com/jp/operationmgr/>